

2020 年度

授業概要

科目名	精神障害評価学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
本講座は、精神障害作業療法における評価の基礎的な知識を学習することが主な目的である。また、精神障害作業療法の評価手段である面接、関与しながらの観察、作業面接を取り上げ、演習を通して基礎的な技術を習得する機会とする。								
〔授業全体の内容の概要〕								
精神障害作業療法評価の基礎知識、精神障害作業療法の評価（総論）、評価の基礎技術（面接、関与しながらの観察、作業面接）などの基本を知る。								
〔講師の実務経験〕								
2007年4月～2011年3月末まで精神一般病棟、精神療養病棟、精神科デイケア（大規模なもの）を併設した病院に所属する。主な業務は精神科作業療法、認知行動療法を実施していた。2012年～2014年に放課後デイ施設に勤務（非常勤）。知的障害、発達障害、ダウン症児のリハビリに従事した。2015年～2017年に精神一般病棟、アルコール依存症治療病棟、児童思春期病棟を併設した病院に勤務（非常勤）。精神科作業療法、アルコール依存症病棟、児童思春期外来でのリハビリに従事した								
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害作業療法評価の基礎とは何かを、大まかにでも説明できる。 ・面接、観察、関与しながらの観察、作業面接について大まかにでも説明できる。 ・基本技術である面接や観察した事柄を演習して、レポートに記録ができる。 								
回数	講義内容							
1	精神障害作業療法の評価の基礎知識（距離をとる、関与しながらの観察、自閉）							
2	精神障害作業療法の評価とは（作業療法は、対象者の何をどう把握し、どう治療・支援するか）							
3	精神障害作業療法の評価技術－面接・観察のポイント、デモンストレーション（興味関心）							
4	精神障害作業療法の評価技術－面接・観察（興味関心）							
5	精神障害作業療法の評価技術－面接・観察デモンストレーション（希望・願い）							
6	精神障害作業療法の評価技術－面接・観察（希望・願い）							
7	精神障害作業療法の評価技術（講義・演習）－作業面接①							
8	精神障害作業療法の評価技術（演習）－作業面接②							
定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
精神障害と作業療法			山根寛			三輪書店		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
筆記試験								